



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 7264 URL https://www.muro.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,488	2.2	178	△81.6	737	△31.2	416	△44.8
2022年3月期第2四半期	10,260	27.2	971	—	1,072	—	754	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,090百万円( 4.3%) 2022年3月期第2四半期 1,044百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	68.95	—
2022年3月期第2四半期	124.94	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	28,657	20,271	70.7
2022年3月期	27,359	19,313	70.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 20,271百万円 2022年3月期 19,313百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2023年3月期	—	22.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,753	10.8	830	△34.1	1,243	△36.6	669	△50.3	110.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	6,546,200株	2022年3月期	6,546,200株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	504,062株	2022年3月期	504,062株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	6,042,138株	2022年3月期2Q	6,042,138株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻に伴う資源価格の高騰、インフレ抑制のための欧米各国の金融引き締めに伴う景気悪化懸念、中国のゼロコロナ政策堅持による経済低迷等により、低調に推移しました。新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残る中、独裁的な国々と民主主義を堅持する国々、その他の自国の利益を優先する国々との間での分断や綱引きが進み、1年前とは環境が大きく変わり、先行きの不透明感は増しています。

国内経済につきましては、金融引き締め動く米国をはじめとした多くの国に対して金融緩和継続を連呼する日本との金利差拡大が意識されて歴史的な円安水準となり、折からの資源高も重なったダブルパンチが経済の足を引っ張り、低調に推移しました。円安と資源高により物価が上昇し、デフレに慣れた日本でも様々な物の値上げが頻繁に行われるようになり、今後は国内での消費活性化よりもコロナ規制緩和に伴う外国人旅行者等によるインバウンド消費に期待することになりそうです。

当社が属する自動車業界につきましては、コロナ禍での生産減によるバックオーダーを膨大に抱えているものの部品供給が回復せず、増産を計画しながら減産となる状況が繰り返され、低調に推移しました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は、10,488百万円（前年同期比2.2%増）と微増となりました。営業利益は178百万円（前年同期比81.6%減）と原材料他の価格上昇による経費増と減産下での生産効率低下により大幅に減少しました。経常利益は為替差益486百万円により737百万円（前年同期比31.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は416百万円（前年同期比44.8%減）と減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 金属関連部品

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、9,043百万円（前年同期比0.7%増）となりました。当社個別の売上は客先各社の減産等により減少したものの、円安により海外子会社の円換算売上が増加したこと、製品立上りに伴い中国子会社MTXHの売上が増加したこと、タイ子会社3MTが第65期の第3四半期連結累計期間から連結対象となったこと等により増加しました。

## ② 樹脂関連部品

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、864百万円（前年同期比2.8%増）となりました。いがり産業では客先の減産を受けて売上が減少しましたが、タイ子会社ISK-Tの売上が増加したことにより増加しました。

## ③ その他

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、581百万円（前年同期比32.3%増）となりました。海外は住宅需要が旺盛で、米国と欧州、カナダ、南米、韓国で増加しました。国内はトラック減産の影響がありましたが、建築向けの新規販売が貢献して増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,297百万円増加し、28,657百万円となりました。主な増加は受取手形及び売掛金430百万円、有形固定資産641百万円、投資有価証券411百万円であり、主な減少は現金及び預金441百万円でありま

## (負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ340百万円増加し、8,386百万円となりました。主な増加は流動負債のその他252百万円、長期借入金399百万円であり、主な減少は電子記録債務104百万円、未払法人税等152百万円であります。

## (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ957百万円増加し、20,271百万円となりました。主な増加は為替換算調整勘定722百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益416百万円であり、主な減少は剰余金の配当金132百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は70.7%（前連結会計年度は70.6%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、457百万円減少し5,780百万円(前連結会計年度末比7.3%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は51百万円(前年同四半期は849百万円の収入)となりました。これは税金等調整前四半期純利益736百万円、減価償却費637百万円などの資金の流入があったものの、為替差益491百万円、売上債権の増加311百万円、仕入債務の減少183百万円、法人税等の支払額424百万円などの資金の流出があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,284百万円(前年同四半期比4.1倍)となりました。これは有価証券の償還による収入100百万円などの資金の流入があったものの、有形固定資産の取得による支出936百万円、投資有価証券の取得による支出383百万円などの資金の流出があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は204百万円(前年同四半期は1,268百万円の使用)となりました。これは長期借入れによる収入344百万円などの資金の流入があったものの、配当金の支払額132百万円などの資金の流出があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の状況、今後の事業環境等を勘案し、当期の業績予想の見直しを行った結果、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期通期における業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2022年11月10日公表の「業績予想の修正及び営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,614,427	6,172,865
受取手形及び売掛金	3,163,203	3,593,945
電子記録債権	1,881,926	1,877,760
有価証券	335,504	262,106
商品及び製品	920,224	976,759
仕掛品	435,341	483,530
原材料及び貯蔵品	510,102	604,117
その他	513,974	563,223
貸倒引当金	△1,150	—
流動資産合計	14,373,554	14,534,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,370,816	9,412,337
減価償却累計額	△4,677,109	△4,941,134
建物及び構築物（純額）	3,693,706	4,471,203
機械装置及び運搬具	14,855,289	15,634,086
減価償却累計額	△11,860,864	△12,685,510
機械装置及び運搬具（純額）	2,994,424	2,948,576
土地	1,518,158	1,606,625
建設仮勘定	583,468	350,732
その他	6,281,380	6,504,434
減価償却累計額	△5,787,119	△5,955,811
その他（純額）	494,261	548,623
有形固定資産合計	9,284,018	9,925,761
無形固定資産		
のれん	50,209	37,657
その他	277,431	300,816
無形固定資産合計	327,641	338,473
投資その他の資産		
投資有価証券	2,151,447	2,563,179
長期貸付金	35,175	50,151
繰延税金資産	102,990	108,184
退職給付に係る資産	128,517	145,540
その他	960,232	995,883
貸倒引当金	△4,280	△4,280
投資その他の資産合計	3,374,082	3,858,659
固定資産合計	12,985,742	14,122,893
資産合計	27,359,297	28,657,202

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,363,622	1,382,828
電子記録債務	2,586,993	2,482,481
短期借入金	960,000	1,024,400
1年内償還予定の社債	10,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	90,318	48,567
未払金	557,762	504,049
未払法人税等	431,614	278,833
賞与引当金	606,677	529,039
役員賞与引当金	45,440	49,402
その他	718,315	971,139
流動負債合計	7,370,744	7,275,741
固定負債		
長期借入金	414,165	813,875
繰延税金負債	15,620	31,324
役員退職慰労引当金	23,433	28,660
その他	221,602	236,579
固定負債合計	674,822	1,110,439
負債合計	8,045,566	8,386,181
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	16,995,904	17,279,594
自己株式	△395,383	△395,383
株主資本合計	18,599,907	18,883,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	485,194	447,962
為替換算調整勘定	125,864	848,386
退職給付に係る調整累計額	102,764	91,073
その他の包括利益累計額合計	713,823	1,387,423
純資産合計	19,313,731	20,271,020
負債純資産合計	27,359,297	28,657,202

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	10,260,940	10,488,569
売上原価	7,899,075	8,864,365
売上総利益	2,361,864	1,624,204
販売費及び一般管理費		
運搬費	192,881	175,527
給料及び賞与	365,518	402,766
賞与引当金繰入額	111,631	84,506
役員賞与引当金繰入額	45,564	49,402
退職給付費用	5,738	6,479
減価償却費	52,112	36,614
のれん償却額	12,552	12,552
その他	604,441	677,809
販売費及び一般管理費合計	1,390,441	1,445,657
営業利益	971,423	178,546
営業外収益		
受取利息	12,676	26,409
受取配当金	17,668	20,823
太陽光売電収入	6,929	6,551
補助金収入	—	4,984
為替差益	41,780	486,568
その他	32,894	31,234
営業外収益合計	111,950	576,571
営業外費用		
支払利息	4,865	12,639
減価償却費	2,117	1,977
その他	4,144	2,559
営業外費用合計	11,126	17,176
経常利益	1,072,246	737,941
特別利益		
固定資産売却益	651	2,162
投資有価証券売却益	14	—
段階取得に係る差益	7,350	—
負ののれん発生益	37,803	—
特別利益合計	45,820	2,162
特別損失		
固定資産除却損	690	818
有価証券償還損	—	2,453
特別損失合計	690	3,271
税金等調整前四半期純利益	1,117,377	736,832
法人税、住民税及び事業税	367,375	276,314
法人税等調整額	△4,955	43,900
法人税等合計	362,419	320,215
四半期純利益	754,957	416,616
親会社株主に帰属する四半期純利益	754,957	416,616



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	754,957	416,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,616	△37,231
為替換算調整勘定	275,947	722,522
退職給付に係る調整額	△13,553	△11,690
その他の包括利益合計	290,011	673,599
四半期包括利益	1,044,968	1,090,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,044,968	1,090,216
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,117,377	736,832
減価償却費	614,788	637,693
のれん償却額	12,552	12,552
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△1,150
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,152	△77,638
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	19,474	3,962
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,080	5,226
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△15,064	△17,022
受取利息及び受取配当金	△30,345	△47,233
支払利息	4,865	12,639
為替差損益(△は益)	△44,825	△491,390
補助金収入	—	△4,984
固定資産除却損	690	818
固定資産売却益	△651	△2,162
有価証券償還損益(△は益)	—	2,453
売上債権の増減額(△は増加)	33,655	△311,388
棚卸資産の増減額(△は増加)	△217,507	△76,650
仕入債務の増減額(△は減少)	△176,000	△183,376
未払金の増減額(△は減少)	△191,525	△17,798
未払又は未収消費税等の増減額	△57,187	△40,878
その他	38,653	190,411
小計	1,136,180	330,914
利息及び配当金の受取額	30,379	45,661
利息の支払額	△3,615	△8,157
補助金の受取額	—	4,984
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△313,140	△424,888
営業活動によるキャッシュ・フロー	849,803	△51,486
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△14,402	△12,022
定期預金の払戻による収入	404,766	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,162	—
有価証券の取得による支出	△109,750	△1,655
有価証券の償還による収入	219,510	100,000
有形固定資産の取得による支出	△782,816	△936,002
有形固定資産の売却による収入	781	2,753
無形固定資産の取得による支出	△15,064	△30,504
投資有価証券の取得による支出	△5,327	△383,991
その他	△9,756	△23,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△310,898	△1,284,536
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,490,000	64,400
長期借入れによる収入	426,014	344,000
長期借入金の返済による支出	△33,734	△34,418
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
配当金の支払額	△133,380	△132,838
リース債務の返済による支出	△32,824	△31,656
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,268,925	204,487
現金及び現金同等物に係る換算差額	143,995	673,734
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△586,024	△457,800
現金及び現金同等物の期首残高	7,038,908	6,238,719
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,452,884	5,780,919

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。この変更による当第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,981,120	840,671	9,821,791	439,148	10,260,940	—	10,260,940
セグメント間の 内部売上高 又は 振替高	—	8,541	8,541	—	8,541	△8,541	—
計	8,981,120	849,212	9,830,333	439,148	10,269,482	△8,541	10,260,940
セグメント利益	1,289,703	3,954	1,293,658	57,082	1,350,740	△379,317	971,423

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益の調整額△379,317千円には、セグメント間取引消去△8,541千円、報告セグメントに配分していない全社費用△370,775千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「金属関連部品事業」セグメントにおいて、3MT(THAILAND)CO., LTD. の株式を追加取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。

当該事象による負ののれん発生益の計上は、37,803千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,043,015	864,371	9,907,387	581,182	10,488,569	—	10,488,569
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7,366	7,366	—	7,366	△7,366	—
計	9,043,015	871,737	9,914,753	581,182	10,495,936	△7,366	10,488,569
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	524,271	△25,768	498,503	65,254	563,757	△385,210	178,546

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△385,210千円には、セグメント間取引消去△7,366千円、報告セグメントに配分していない全社費用△377,844千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (収益認識関係)

当社グループは主として自動車メーカー向けの部品供給事業を中心に事業活動を行っております。売上高を顧客の所在地を基礎とした地域に分類しております。

分解した地域別の売上高と報告セグメントとの関係は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計		
日本	7,853,726	780,166	8,633,893	79,820	8,713,713
北米	771,735	—	771,735	248,501	1,020,237
東南アジア	353,211	60,504	413,716	—	413,716
その他	2,446	—	2,446	110,826	113,273
外部顧客への売上高	8,981,120	840,671	9,821,791	439,148	10,260,940

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計		
日本	7,682,177	742,997	8,425,174	91,132	8,516,306
北米	811,480	—	811,480	337,728	1,149,208
東南アジア	476,240	121,373	597,614	2,071	599,685
その他	73,117	—	73,117	150,250	223,368
外部顧客への売上高	9,043,015	864,371	9,907,387	581,182	10,488,569

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。